



■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト：CASBEE柏2016(v1.0)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 柏たなか I 計画 新築工事	階数	地上12F
建設地	千葉県柏市小青田	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	886 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2018年11月 予定	評価の実施日	2016年12月21日
敷地面積	10,005 m ²	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	2,538 m ²	確認日	2016年12月21日
延床面積	21,898 m ²	確認者	株式会社長谷工コーポレーション



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (92 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 98% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 98%

④上記+ 98%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 3.1

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他
沿道沿いに中庭・コミュニティスペースを設け、地域に開かれた空間を創出すると共に、居住スペース、駐車場などには公共空間からの見え方に配慮する植栽計画をした。	0
Q1 室内環境 ・界壁の壁厚を180mm以上とし、Dr-50を目標値に設定 ・カーテン及びバルコニー庇の組合せで昼光制御をしている	Q3 室外環境 (敷地内) 建物の高さ、色彩等をまちなみ・景観に配慮し、地域に配慮した植栽計画をした。
LR1 エネルギー ・全てLED照明を採用 ・潜熱回収型給湯器を採用	LR3 敷地外環境 ・ディスプレイシステムを採用
Q2 サービス性能 ・各住戸に100Mbitクラスのブロードバンドが利用可能 ・住居部の天井高2.5m以上	
LR2 資源・マテリアル ・リサイクル材を使用 ・解体時におけるリサイクルを促す対策を行っている	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

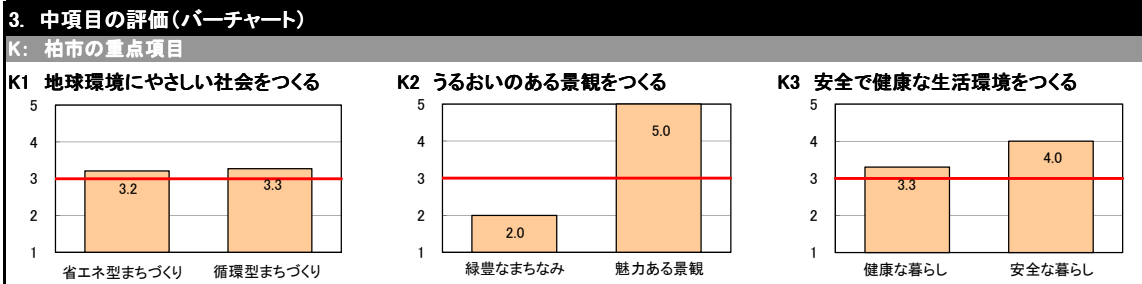


評価結果

■使用評価マニュアルCASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE柏2016(v1.0)

1 建物概要	
建物名称 (仮称) 柏たなか I 計画 新築工事	建築物の環境効率 (BEEランク) B+ ★★★★★

2 重点項目への取組み度		
重点項目	取組み度※(得点/満点)	評価結果
K1 地球環境にやさしい社会をつくる	3.2 / 5.0	ふつろ
K2 うるおいのある景観をつくる	3.5 / 5.0	ふつろ
K3 安全で健康な生活環境をつくる	3.6 / 5.0	ふつろ
※ 対応するCASBEEのスコアと主な指標を元に、独自に設定された条件で評価をします。(左記は評価結果の凡例)	すばらしい 4点以上	ふつろ 3点以上
		がんばろう 3点未満



4. 設計上の配慮事項	
<p>K1 地球環境にやさしい社会をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての電球にLEDを採用。 潜熱回収型給湯器を採用。 ディスプレイシステムを採用。 	<p>スコアシート</p> <ol style="list-style-type: none"> 省エネ型まちづくり <ul style="list-style-type: none"> 1.1 建物の熱負荷抑制(LR1-1) スコア 3.0 1.2 自然エネルギーの利用(LR1-2) スコア 3.0 1.3 設備システムの高効率化(LR1-3) スコア 3.7 1.4 効率的な運用(LR1-4) スコア 3.0 循環型まちづくり <ul style="list-style-type: none"> 2.1 雨水利用・雑排水再利用(LR2-1.1) スコア 3.0 2.2 雨水排水負荷抑制(LR3-2.3.1) スコア 3.0 2.3 非再生性資源の使用量削減(LR2-2) スコア 3.1 2.4 廃棄物処理負荷抑制(LR3-2.3.4) スコア 4.0
<p>K2 うるおいのある景観をつくる</p> <p>常緑樹、落葉樹、実のなる樹木を植樹することで四季を通して緑豊かな空間を作り、鳥類等の営巣・採餌場を確保し、野生小動物の生息域の確保に配慮した。道路沿いに植樹を施し、公共空間からの見え方に配慮した。</p>	<p>スコアシート</p> <ol style="list-style-type: none"> 緑豊かなまちなみ <ul style="list-style-type: none"> 1.1 生物資源の保全と創出(Q3-1) スコア 2.0 魅力ある景観 <ul style="list-style-type: none"> 2.1 まちなみ・景観への配慮(Q3-2) スコア 4.0 2.2 水空間の創出 設置の有無 - 2.3 道路沿いの緑化 緑視率の確保 O
<p>K3 安全で健康な生活環境をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> JIS・JAS規格のF☆☆☆☆を全面的に採用。 バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たしている。 防犯カメラの設置。 	<p>スコアシート</p> <ol style="list-style-type: none"> 健康な暮らし <ul style="list-style-type: none"> 1.1 空気質環境(Q1-4) スコア 3.6 1.2 バリアフリー計画(Q2-1.1.3) スコア 3.0 安全な暮らし <ul style="list-style-type: none"> 2.1 耐震・免震(Q2-2.1) スコア 3.0 2.2 防犯対策 防犯性の配慮 O